



もしり

Moshiri

JICA北海道(帯広) 25周年記念イベント第2弾



～湿原探索!

JICA研修員一日体験プログラム～

JICA研修では、途上国からの研修員たちが、自国の環境保全活動やエコツーリズムに活かすべく、釧路湿原保全の取組や技術を学んでいます。講師のお話を聞きながら、達古武遊歩道を散策し、世界とつながった新たな視点で釧路湿原を楽しんでみませんか?皆様のご参加をお待ちしています!



▲木道を散策(イメージ)

イベントの詳細はJICA北海道(帯広)で検索していただくか、右のQRコードよりHPをご覧ください。

[日時] 2021年10月16日(土)
10:00～14:30

[場所] 達古武オートキャンプ場
(釧路町達古武65-2)



オンラインイベント おびひろ to the WORLD

～バラオにGO!エコツアーで知る 南国の秘境とイルカ達～

青い海の広がる南国の島「バラオ共和国」とオンラインでライブ中継いたします。イルカとの触れ合いを通して行われている環境教育について一緒に学んでみませんか?



[日時] 2021年10月24日(日) 13:30～15:00
[場所] オンライン会議システムZoom

イベントの詳細はJICA北海道(帯広)で検索していただくか、右のQRコードよりHPをご覧ください。



釧路在住 JICA 海外協力隊 経験者の声

小竹 一嘉さん(釧路市出身)
セネガル共和国へ村落開発普及員として2000～2002年に派遣



▲左から2番目が小竹一嘉氏

私は高校の授業でJICAとJICA海外協力隊のことを知り、自分自身も「世界を舞台に、人の役に立つ仕事をしてみたい」と強く思うようになりました。その後、夢に向かってコツコツ努力や準備をしていき、社会人を数年間経験したのち、2000年12月からの2年間、JICA海外協力隊員としてセネガル共和国で活動してきました。セネガルでは、都市計画住宅省が行う首都ダカール郊外の再区画整備事業に関わり、街路樹の整備など、地域住民が求める活動を地域住民とともに企画・実施していました。現地の人々と同じ言葉(フランス語とウォロフ語)で意見交換し、彼らと同じ目線で、より持続可能な活動とな

るよう心掛けてきました。協力隊参加後も、主にアフリカでの国際協力に従事していましたが、2015年、家庭の事情により、生まれ故郷である釧路市に戻ってきました。現在は釧路市役所(市民協働推進課)にて勤務しておりますが、JICA海外協力隊への参加を通じて養うことができた社会奉仕の精神、多様性の理解と尊重、多種多様な人や組織との繋がり、逆境や困難に打ち克つ精神力などを、故郷に、さらに還元していければと考えています。JICA海外協力隊に興味・関心のある方、どうぞ気軽に声をかけてくださいね。

※QRコードは機依存ウェブページの登録商標です。